

「2月突入！今日は節分、明日は立春。季節は、春へ！」

生徒指導通心
第32号

縁(えん)

妻ヶ丘中生徒指導部
令和5年2月3日発行



早いもので、もう2月。先週ほどの寒さはなかったものの、日によっては、まだまだ「寒いっ！」と感じる日もありました。しかし、確実に季節は冬から春へ近づいています。とすることで、今日(2月3日)は、『節分(せつぶん)』です。節分と言えば、「鬼は外！福は内！」と言って、豆をまく姿が思い出されることでしょう。それでは、節分について少し話をしましょう。

- ・節分とは、各季節の始まりの日(立春・立夏・立秋・立冬)の前日のことを言う。
- ・その中でも、旧暦の1年の始まりである春の節分(立春の前日)が重要視され、「節分=2月の伝統行事」「鬼を追い払って新年を迎える、立春の前日の行事」として浸透した。(※諸説あり)
- ・節分の日は、固定ではなく、変化する。2021年の節分は、124年ぶり(明治30年)の2月2日であった。次回2月2日が節分になるのは、2025年である。

おやっ？と思うことはありませんか。2年前の節分は「2月2日」だったのを覚えていませんか。それは、なぜ？ここからは、自分の力でお願いします(笑)

話は変わり、昨日2日(木)は、県立推薦入試が行われました。私立入試同様、緊張感に包まれた1日になりました。引率の私にも、その緊張感がひしひしと伝わってきました。本当にお疲れ様でした。しかし、3年生は、来週7日(火)8日(水)に、中学校生活最後の定期テストが実施されます。入試、テスト…3年生の宿命かも知れません。これを乗り越えれば、必ず「春」が来ること信じて、最後の一踏ん張り頑張ってください。

週末がやってきます。生活リズムを整え、落ち着いた週末になるように過ごしましょう。感染症対策もしっかりとお願いします。事件、事故、トラブルに巻き込まれることのないように、有意義な時間を過ごして下さい！



逆境と試練

「逆境と試練」。これまでも様々な困難に立ち向かい、解決していったことでしょう。しかし、長い人生ですので、いつ何時「逆境や試練」が訪れるか分かりません。

神様は
乗り越え
試練は
手えない!

逆境というものは、自分が自分自身に与えた試験問題のようなものです。その逆境には重要な意味が隠されており、その問題を解くことによって一ランク上の人間に成長できる。だからこそ、自分自身でその逆境を選びとったのです。
(中略)

人間は自分のレベルに応じて、自分にふさわしい試練というものを選びとって生きています。自分の力で解決できないような試練は選びません。

目の前にある状況がつらければつらいほど、苦しければ苦しいほど、その人はその試練に立ち向かうに値する人間だと言えるのです。
「言葉は力」 飯田史彦著/致知出版

飯田氏は、病気や事故、友だちや家族とのトラブル等々、人生には様々な逆境や試練が押し寄せて来ると言います。しかし、すべての問題は、自分が製作した試験問題と思えばいいのです。だから、全部乗り越えられるように作ってあるし、解決できない問題はないと思えばいいのです。

と、言われても実際には、逆境が来たときにはうろたえてしまいます。どうにかして避ける方法はないのか？逃げることはできないのか？と考えてしまいます。しかし、偉人の言葉を借りるまでもなく、逆境を乗り越えてこそ、ひとまわりも、ふたまわりも人が大きく成長出来るのです。どんな試練にも逃げないで立ち向かえる人でありたいですね。

